

第13回
奈良ギター合奏団
定期演奏会

第32回奈良県民芸術文化祭参加



2001.10.14 1:30 p.m

ならまちセンター市民文化ホール

———— Program ————

…………… 第一部 ……………

ポピュラー合奏

1. コーヒー・ルンバ
2. Smile Again
3. ラスト・ワルツ
4. TSUNAMI
5. マカレナの乙女

重奏

1. ドヴォルザーク・メドレー …… ドヴォルザーク
奏者 田中 穂積 岩井 道雄
2. 喜歌劇『セヴィリアの理髪師』序曲・…ロッシーニ
奏者 G.T.G.D.
3. はかなき人生 …… M.de. ファリャ
奏者 山岡A&K

…………… 第二部 ……………

50's アンサンブル

1. シバの女王
2. 日本の歌 ふるさと～青い山脈
3. オブ・ラ・ディ・オブ・ラ・ダ
4. コンドルは飛んでいく

クラシック合奏

- 弦楽セレナーデ …… P.I. チャイコフスキー
第1楽章
パリのアメリカ人 …… G. ガーシュイン

—— 曲目解説 ——

第一部

ポピュラー合奏

コーヒー・ルンバ

ベネズエラの作曲家ホセ・マンソが作曲した曲です。原曲はリズム・オルキディアという形式で書かれていましたが、ルンバに編曲され世界的にヒットしました。

Smile Again

どこかで聞いたことのある、親しみやすい旋律を持った曲です。

ラスト・ワルツ

ゆったりとしたワルツです。ギターのとレモロに注目して下さい。

T S U N A M I

サザンオールスターズのヒット曲で、今年のレコード大賞に輝いた曲です。

マカレナの乙女

この曲はスペインの闘牛場でよく演奏される為、別名“闘牛士のマンボ”と呼ばれています。ベレス・ブラードが編曲し、ラテンのスタンダードナンバーとなっています。

重奏

ドヴォルザーク・メドレー

「ユモレスク・家路・スラブ舞曲第2番」

気まぐれな性格でユーモアのある曲というような意味の「ユモレスク」。交響曲第9番「新世界より」皆さんご存知のこの部分は、日本では「家路」と名前がついています。また心を締め付けるような哀愁の漂うメロディを持つ「スラブ舞曲第2番」。いずれも多くの人に愛されているドヴォルザークの3曲をメドレーで演奏します。

喜歌劇『セヴィリアの理髪師』序曲

この序曲は、歌劇『ウイリアム・テル』序曲と並ぶロッシーニの数多い歌劇の序曲のうちで、もっともポピュラーで、美しい管弦楽曲です。いかにもイタリアの青空のように透明で、流れる小川のようにさわやかな美質をそなえている、典型的なイタリア的音楽といえます。この曲をギターの二重奏にアレンジした作品は、ギター的に柔らかい音色を保ちながらオーケストラのような壮大さも兼ね備えて編曲されています。

はかなき人生

ギター二重奏では、おなじみの名曲。いろんなデュオが弾いています。A&Kは、有名な曲は出来るだけ避けてきたのですが（下手さがばれるから）今回は、あえて挑戦します。本番では鬼門とされるこの曲ですが、さてどうでしょうか？

第二部

50's アンサンブル

シバの女王

フランスのミシェル・ローランが1968年に自作自唱した曲。日本ではレイモン・ルフェーブル楽団やポール・モーリアオーケストラの演奏で大ヒットしました。前奏部の歯切れ良いリズムと全体の美しいメロディーがここを引きつけます。

日本の歌 ～ふるさと・青い山脈～

私達が歌い伝えたい日本の歌シリーズ第2回・本日はこの2曲を演奏いたします。解説は不要ですね。あまりに有名なこの曲と一緒に歌いながらお聴き下さい。

オブ・ラ・デイ・オブ・ラ・ダ

ビートルズのポール・マッカートニー作曲。後年のレゲエ・ムーブメントを先取りしたともいえるカリブソ風の楽しい楽しい曲です。

コンドルは飛んでいく

1913年ペルーの作曲家ダニエル・アロミアス・ロブレスがインカの姫を主人公にしたオペレッタのために作曲したものです。そもそもアンデスの民族音楽を素材にしていたためその後民謡のようにして広まっていったものです。サイモンとガーファングルのデュオで一躍有名になりました。

クラシック合奏

弦楽セレナーデ より第1楽章 編曲：江口 政樹

この曲はCMなどによく使われているので、皆さん一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。

チャイコフスキーは、1880年の秋、ウクライナのカメンカで比較的短期間に書き上げたこの曲に特別の愛着をいただいていたようで、知人に宛てられた手紙には「私はあなたが私のセレナーデが正しく演奏されたのを聴きになれるよう心から望んでいます。ピアノでは持ち味が出し切れません。弦楽での演奏をお聴きになれば、きっと共鳴されるに相違ありません。第1楽章は私のモーツァルト賛歌です。それは彼のスタイルを模倣して書いたもので、私がモーツァルトにいくらかでも近づけたとしたら、とても嬉しいことです。」と書かれていたそうです。今日はギターで演奏しますが、はたしてどこまで持ち味が出し切れるかに挑戦します。

パリのアメリカ人 編曲：山岡 初彦

1928年に、パリに赴いたガーシュインは、多数の作曲家との親交を深めました。その中で、パリの街の印象や郷愁を織り込みつつ、この曲を作りました。冒頭の“散歩の主題”から、ブルース、チャールストン風の主題を巧みに扱いながら、色彩的で充実感に満ちた大曲です。

ジーン・ケリー主演による、同名の映画も大ヒットしましたね。

★出演者の紹介★

岩井 道雄	合奏団を通じて、たくさんのギター好きの人と曲それにサポートして下さる方に巡り会えました。上手下手を問わない楽しい合奏団であり続けたいと思います。
江口 政樹	当初は、チャイコフスキーの弦楽セレナーデの2楽章のワルツも予定に入っていましたが、1楽章の編曲で力尽き、今日の演奏会には間に合いませんでした。
大坪 陽子	今回初舞台で、コントラバスで参加します。音の厚みと合奏団の年齢層の厚みの両方を支えています。(ある合奏団員による他己紹介)
大野 明子	3回目の出演ですが、練習不足腕不足で、ずーっと新参者です。今年は50'sにも初参加、酒宴つき練習を楽しみました。合奏団では宴会部長?を担当しています。
北尾 美喜子	第2回定演から参加しています。無理せず、マイペースでやってきたので楽しみながら、長く続けられたと思います。合奏団では、会計を担当しています。
木村 史郎	今回で定期演奏会も13回目になります。毎年演奏会前になると、もう少し練習時間がほしかったと思いながら13年が経過しました。来年は、なんとかしたい。
近藤 哲郎	学生時代はギターを弾いていましたが、以来約30年すっかり遠ざかっており、久しぶりのギターに悪戦苦闘しています。さてさてどんなことになるのやら。
田中 穂積	入団6年目で何時の間にか後輩がたくさん出来ました。妻は合奏団ってお金がかからなくて良いねと喜んでます。練習の合間のビールとつまみの仲間達に乾杯!
谷 洋子	今年の4月に入団したばかりの新人です。なのに、何故かパートソロ、おまけに二重奏にまで出演となるとは・・・
山岡 敦子	夏より体調を崩し、練習も休みがちでしたが、合奏団のメンバーの暖かい応援で、参加出来ることになりました。メンバーのみんなに、そしてKに感謝!
山岡 初彦	病弱な妻をいたわりながら、ギターを弾いています。なんと優しい夫だろうと思う今日この頃です。
山口 領	今年は2回目の定演出演。2年連続2重奏出演。去年のようなフレッシュさがなくなり練習不足。フレッシュのかわりに少し色気のある演奏をめざして頑張ります。
山田 和夫	私の必殺技"うそ合図"に騙されない合奏団の皆さんはすばらしいといつも感心しています。
横山 伸幸	早いもので、今年で5回目の出演となります。気持ちは若いつもりですが、体や指の動きが鈍ってきてたなとつくづく感じるこの頃です。
笠 慎一郎	今年は練習時間がなかなかとれず、苦勞しました。トホホ・・・。演奏で足を引っ張る人がいたらそれは私です。ごめんなさい! m(_ _)m
渡部 宣行	ギターは高校時代にちょっと、少し休んで40才の頃に再開しました。ここ数年のんびりゆったりと楽しんでいます。合奏も味わうため今年から入団しました。
五十嵐 万人 (パーカッション)	今回初参加です。弦・木管・ピアノ・生ギター・エレキギター・民族楽器という異種格闘技的な"室内楽団GONVE"に所属し、Drumsを担当しています。今回の演奏会で丁度良いさじ加減の"スパイス"となれば幸いです。